

支えあって住み続けられる地域を求めて



支えあいの暮らしの実現のための 集落ワークショップを開催!

10 月から 12 月、町内の 5 集落で各 3 回集落ワークショップを開催しました。延べ 200 名程が参加し、身の回りの不安や問題点を話し合い“こんなようにしたい”“こうなったらいい”といった問題解決のアイデア等について意見を交わしました。その取組の様子を紹介しますが、生きがいを持って安心して暮らせるために
あなたができることもきっとあるはず。。



私たちが進めている「支えあいの暮らし」とは?

このワークショップは『集落で高齢者を中心に様々な人たちとのつながりを築き、お互いに支えあう仕組み(方法)を一緒に考える』ものです。全 3 回のワークショップでは、高齢者の皆さんが健康で生き生きとした生活を送るために、役割意識を高める行動(趣味を楽しむ、農作業に精を出す、手仕事を持つ等)について考えました。また集落としての生活機能の充実を図るために、集落内で支えあう項目を点検し、その機能を高める、あるいは機能を再構築するために必要に応じて新たな支援なども検討しました。

1 人でも多くの声が集まることで互いに学び合い、各集落での取り組み、活動にも新しい可能性が見えてくると思います。

ワークショップの流れ

民生委員児童委員、いきいきサロン、部落長(地域福祉推進委員)の皆さまのご協力をいただき、次の集落で 20 名程の皆様ご参加を頂き、「三人寄れば文殊の知恵」と、まずはみんなで集まり話し合います。合言葉に、“暮らしの将来像はどうなるのか”“生き甲斐を持つためには何をすればよいか”“お互いに支えあう具体的な内容とは”“昔の旦那が少なくなった”“年金だけでは暮らせない”など様々な不安を取り除くための方法を一緒に考え話し合いを進めました。

**【テーマ】『集落で高齢者を中心に様々な人たちとつながりを築き、
お互いに支えあう仕組み(方法)を一緒に考えます。』**

【実施地域】 中部地区：高野寺分部落 白樺地区：下樺部落 東部地区：東山部落
西部地区：西高峰部落 中津川地区：全域対象

STEP 1

第 1 回ワークショップ (10 月 25 日～27 日)

『高齢者を取り巻く問題や解決すべき課題の話し合い』

- 身の回りの不安なこと、心配なことなどの話し合い。
- 家を継いでくれる後継者のことなどの話し合い。
- どんな「支えあい」が必要なのか考える。



- 食事は
- 買い物は
- 生き甲斐は
- 除雪は、等

STEP 2

第 2 回ワークショップ (11 月 23 日～25 日)

『問題を解決する方法の話し合い』

- 第 1 回で出された問題などの解決方法を考える。
- 高齢者の将来像を考える。(どんな高齢者になりたいか)



- 手仕事を持つ
- 食事会を持つ
- 生産活動に従事
- 元気づくり、等

STEP 3

第 3 回ワークショップ (12 月 19 日～21 日)

『解決に向けた具体的な活動の話し合い』

- 問題解決のための活動計画を作る。
 - 「鍋」を囲んでの食事会を開く
- 集落での「支え合う」体制を考える。
 - 自治組織、公民館等との連携/旦那づくりや世話役



- 暮らしの将来像を作る
- モデル 5 地区の報告会の検討
- 他集落への波及

アクション

支えあって住み続けられる地域の実現に向けた行動